



稲 溪太郎

玉手箱」という変わった事務所名、そして「竹村亜希子」の名が印刷されていた。開口一番

占いの玉手箱

竹村亜希子さん

におかれた返(せい)竹とタロットカード、それと本棚いっぱい易学に関する難解そうな書籍だけだ。亜希子さん自身も、パーマをかけない長い髪を肩に垂らし、化粧もさり気なく、細か麻かのモスグリーン

「お待ちしました」と手渡された名刺に「東洋本格易学による」といういかめしい文字と、その下に躍動的なデザインで「占いの

すでに私は占われていたのだ。オソロしい。ユニバーサル新栄ビル四階の鑑定室は、マンション風のオフィスで、神秘を感じさせる。小道具は、机上

シンプルな服を纏く着こなして、現代風の娘さんに見える。きれいな人が、おまを占い師というイメージとは程遠い。一体いくつなんだ

# 誘惑が多くて困っちゃおう



ろう。結婚はしているのだろうかという疑問が湧く。「年齢はもうろん、自宅の住所も電話番号も、そして家庭のこと、男関係などプライベートなことは、一切、誰にも言いません。二十人いるスタッフさえ知らないですから」

しゃべりながらも「重まぶたの目が私をシッと見つめている。やはりどこからか、神秘な雰囲気が出てくる。

「女性の占い師といくと、男性からスチャクチャもてるんです。あんまり誘惑が激しかったので、結婚してるとですよ、と言ったら、逆に四十代、五十代の男性から気味に誘惑できると思われて困りました。女ひとりでやっている、本当に誘惑が多いんです。パトロンがいると思われたりして、なんて非常識など本気で腹を立てたこともありましたけど」

仕事は中小企業の会社関係が多く、人事問題から経営相談、時には社名や新商品のネーミングまで頼まれる。それと個人鑑定だが、さらにイベントとしての占いコーナーに着眼、スタッフを養成して派遣、占いをビジネス化した。新しいタイプの占い師の出現だ。



裕 溪太郎

から相手の環境や、考え方が分かり、超能力(?)鬼ぶりを覚えていた。本格的に占いの世界に入ったのは中学二年生の時だった。

「ある日、見知らぬ旅者風の人が家へ来て、自分が夢で見た家をやっと見付

る。重希子さんは、大仏さんに仙人と噂を。仙人は五年間、居候となって、重希子さんに毎日、夜更まで、易学の初歩から、人相、手相、高度な心易まで教えた。この仙人が変わった人物で、重希子さんを連れて、

占いの玉手箱

### 竹村亜希子さん

けたと言つて、玄関から動かないんです。旗本の人で、大仙算理といひ、易学、人相、手相、姓名学から、命宮学(易と反対の存在)まで極めた仙人だったんです。

地下鉄や新幹線に乗るが、切符なしでスーツと改札口を通り抜けるのだ。レストランで真事をすれば、これも料金を払わず、レジの前をみこに出で行つてしまふ。まるで透明人間。命宮

## 中学2年：「仙人」に見染められ



学を使うとそれができるらしい。

「私には詳しいことは分からないが、一瞬相手の意識が止まり、時間が空白になるようだ。仙人は、これも重希子さんに伝授した。

「私にもできる」と分かったらやめるつもりで、二十歳前のころ試してみたことがあるんです。新幹線では、車掌さんが検札にきたのでやってみたら、私だけ空席のような感じで、検札を飛ばして行っちゃったんです。私は切符を持ってたんです(すげえ)」

仙人のもくは、全国から知人が訪ねてきたという。人脈の豊かな人だったらしい。だが五年目、奥さんから来を知らせる電報が届くと、仙人は、大事に持ち歩いていた硯と尺八と細字一千字を貰いた米一粒を残して逃げるように立ち去っていった。

「頭のない奥さんで(仙人は)プレッシャーを感じていたようにした」

仙人といえども、女房には頭が上らないものらしい。その後、三度、仙人から、はきがきたが、不思議なこと、いつも着出局的の消し印の文字が、読めないように消えていたという。



裕 溪太郎

リンの映像のようなもの  
が現れた。それを見ながら  
昨夜のマジシャンの結果  
を当て「七月三十一日に任  
事のことです。災難に遭うか  
ら、被害を少なにするよう  
気をつけなさいよ」  
と教ええたが、後になって

占いの玉手箱

竹村亜希子さん

で、千円が交雑費だったと  
いう。

占い師は、人生の裏との  
かわり合いが深い。

「いろんな人が来ます。

夫が妻母と相係関係ではな  
いかという奥さんや、若い

娘さんが私は妊娠してらん

八月一日に彼の会社が倒産

したというのを聞き、わ  
れながら、びくびくしたこ  
ともあった。

昭和五十三年に、占いを

職業としたが、資本金はな  
んと二千円。千円が名刺代

じゃないかとか、結婚して

三十年、浮気一つしないの  
に女房から離婚を迫られて

いるとか、さまざまです」

ひどいのは人妻が五人の

愛人の写真を持ってきて、

どの男が一番よいか占って

## 鈍感な男性が不幸を招く？

くれといったこともあつ  
た。

「いまの男性は脆弱すぎ  
ますね。男の気くはりのな  
い、感じません。危機  
感も緊張感も持たない鈍感  
な男性はイヤです」

セックスの悩みから訪れ  
る客も多い。セックスが嫌  
でたまらないという女性、  
夫が強すぎて、弱気になっ  
たという妻。亜希子さんが  
見るところでは、男女関係  
の問題には、金とセックス  
がつきものなぞだ。

亜希子さんは毎年一回、  
一週間の断食を行う。心と  
体を浄化するためだ。その  
八月が近づいている。パッ  
ハの音楽、それもカール・  
リヒターの演奏が好きで、  
聴いていると、ネクラとか  
死への憧れではなく死にた  
くなるという。

亜希子さんは、自分の顔  
が占い師的な相に変わっ  
たら、きっぱり仕事を辞め  
るというが、この美貌が変  
わることはまずあり得な  
い。

深太郎のひとり言

天から与えられた才能  
と感性を他人へのアドバ  
イスに捧げ、自らも男の  
ように振舞いながら頂点  
を極めていく人に見える  
た。

